

米国 生産のモメンタムは弱いまま (08年 2月 鉱工業生産)

発表日：2008年3月17日 (月)

～ただし、過去のリセッション時に比べて安定した状態～

第一生命経済研究所 経済調査部
桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

○2月の鉱工業生産は前月比▲0.5%と下落幅が市場予想である同▲0.1%を上回った(11、12、1月合計で0.1%上方改定)。鉱業が増加した一方で、製造業、公益が減少した。鉱業は前月比+0.4%(前月同▲1.3%)と増加に転じたものの、公益では電力が同▲3.5%(同+2.1%)、天然ガスが同▲5.0%(同+2.8%)とマイナスに転じたことで全体でも同▲3.7%(同+2.2%)と減少した。稼働率は生産能力が前月比+0.2%と拡大した一方、生産が同▲0.5%となったため80.9%(1月分は81.5%)と前月から低下した。

○2月の製造業生産は前月比▲0.2%と減少し(11、12、1月合計で同0.1%下方改定)、稼働率も79.3%(1月分は速報の79.7%から79.6%に下方改定)と低下した。拡大した業種数は19業種中5業種(前月9業種)と減少した。セクター別では、コンピューター、紙、一般機械、石油、食品が拡大した一方、木材、家具、一次金属、加工金属、自動車、繊維、プラスチックが減少した。自動車関連の生産では、自動車部品が同0.0%と横ばいとなった一方、完成車が前月比▲2.4%と大幅に減少したため全体で同▲1.0%と減少が続いた。住宅販売・建設の大幅な縮小の影響を受け木材や家具が減少した。さらに、輸入製品との価格競争の激しい繊維等の生産も減少している。

他方、ハイテク関連では半導体が前月比+1.1%、コンピューターが同+1.2%、通信機器が同+1.2%と加速したことにより、ハイテク生産は同+1.1%(前月同+0.3%)と拡大ペースが速まった。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+11.0%(前月+13.9%)と高い伸びを維持しモメンタムは強い。また、航空機部門の生産は部品不足によって前月比▲0.1%と減少したが、好調な受注が続いていることから前年同月比では+5.9%と堅調さを維持している。受注残の大きさから当面この部門の生産は好調を維持するとみられ、ハイテクとともに今後も生産を下支えしよう。

○3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では鉱工業生産が+0.5%(前月+0.6%)、製造業生産は+0.2%(前月+0.1%)と小幅プラスにとどまっており、ともにモメンタムは弱いままである。足下の製造業生産は好調な輸出にもかかわらず、住宅・自動車需要の縮小の影響を受けている。それでも、過去のリセッション時のような大幅な落ち込みは確認されない。

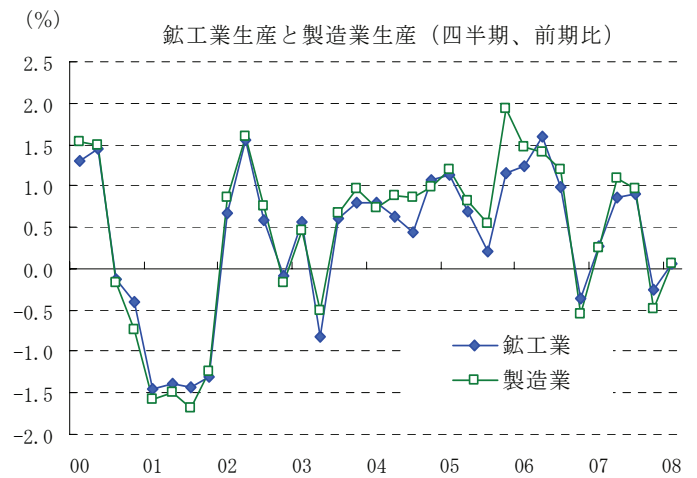
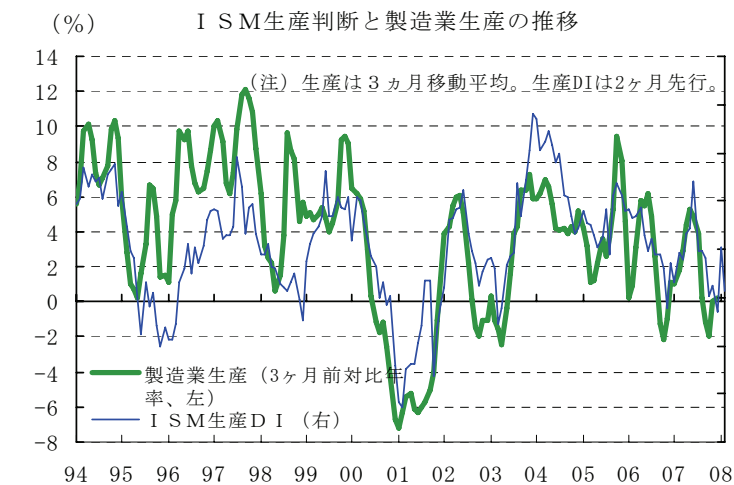
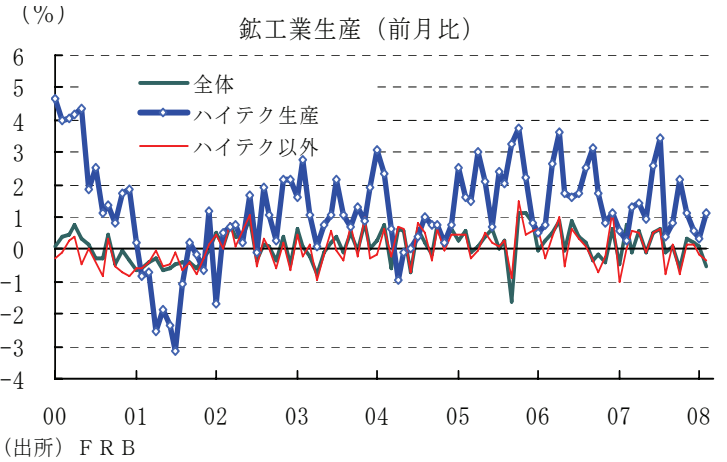
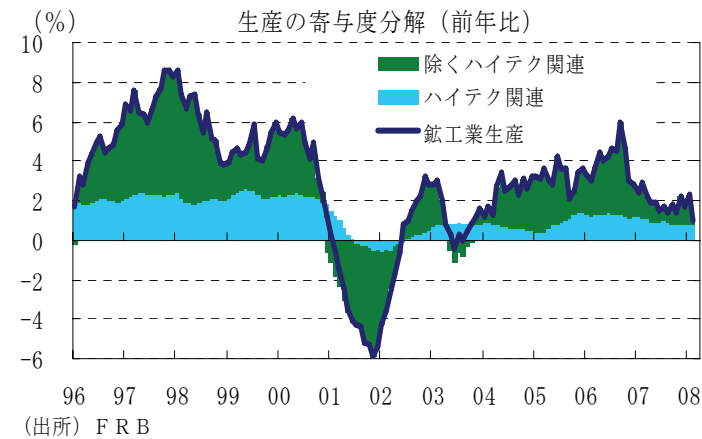
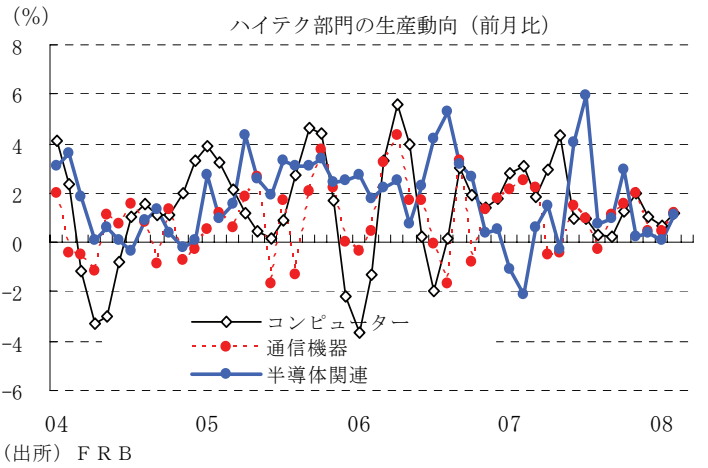
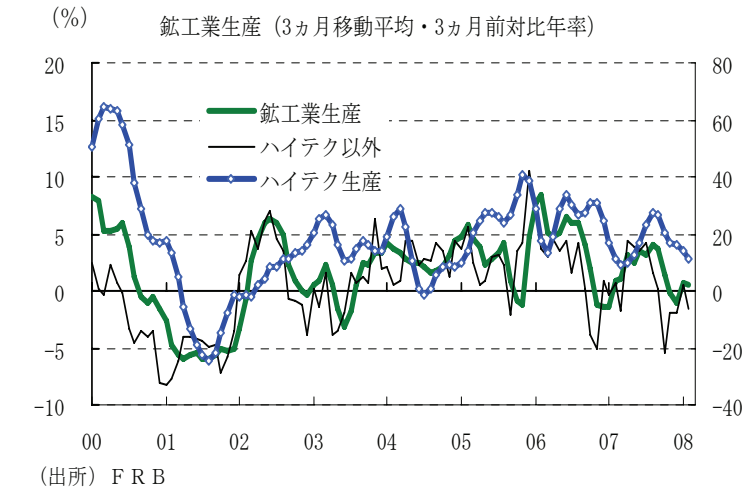
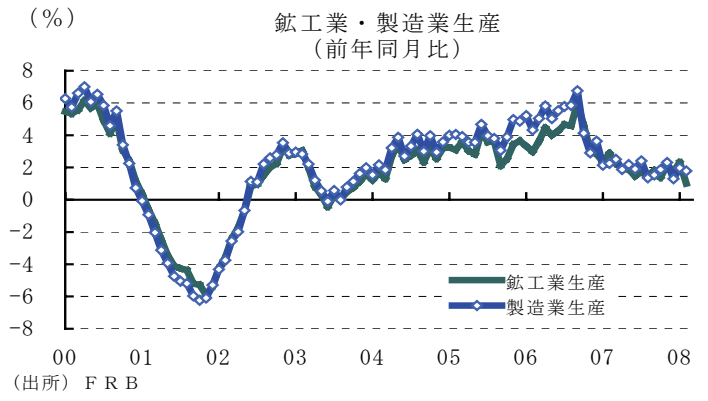
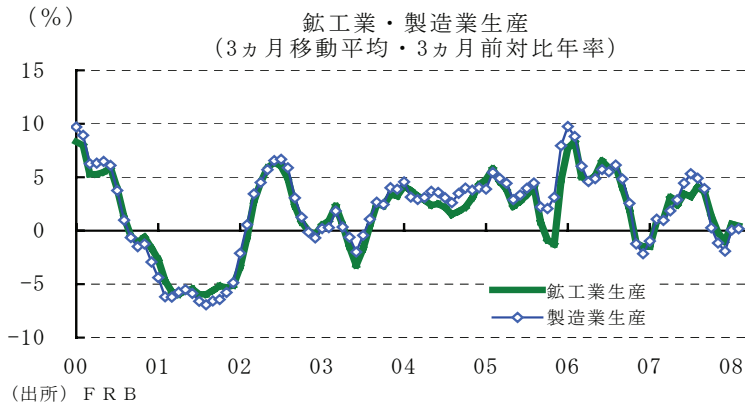
鉱工業生産 (Industrial Production and Capacity Utilization)

	鉱工業生産		製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連			設備稼働率			生産能力
	▲	(+)				除ハイテク 関連	自動車関連		製造業 (NAICS)			
07/03	▲0.1	(+2.2)	+0.7	+0.1	▲6.6	+1.3	+0.6	+0.6	+81.4	+79.8	+0.1	
07/04	+0.6	(+1.9)	+0.4	▲0.0	+2.8	+1.4	+0.5	+1.4	+81.7	+79.9	+0.1	
07/05	▲0.1	(+1.9)	+0.1	▲0.3	▲1.5	+0.9	▲0.1	▲0.5	+81.5	+79.9	+0.1	
07/06	+0.5	(+1.5)	+0.6	+0.5	▲0.7	+2.6	+0.5	+2.6	+81.8	+80.3	+0.1	
07/07	+0.6	(+1.7)	+0.9	+0.9	▲1.0	+3.4	+0.6	+0.7	+82.2	+80.8	+0.1	
07/08	▲0.1	(+1.4)	▲0.6	▲0.8	+5.0	+0.4	▲0.7	▲1.3	+82.0	+80.2	+0.1	
07/09	+0.1	(+1.8)	+0.1	+1.2	▲1.6	+0.8	+0.2	▲3.1	+81.9	+80.1	+0.1	
07/10	▲0.6	(+1.4)	▲0.6	▲0.3	▲0.7	+2.2	▲0.8	▲1.5	+81.4	+79.5	+0.1	
07/11	+0.4	(+2.2)	+0.3	+1.6	+0.4	+1.1	+0.2	+1.0	+81.5	+79.6	+0.2	
07/12	+0.2	(+1.7)	+0.1	+0.6	+0.3	+0.6	+0.1	+0.1	+81.6	+79.6	+0.2	
08/01	+0.1	(+2.3)	+0.0	▲1.3	+2.2	+0.3	▲0.2	▲1.6	+81.5	+79.6	+0.1	
08/02	▲0.5	(+1.0)	+0.2	+0.4	▲3.7	+1.1	▲0.3	▲1.0	+80.9	+79.3	+0.2	

(出所) F R B

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。